PHP / WordPress

PHP脆弱性 対応記録テンプレート

初動の判断を1サイトずつ記録する、印刷用チェックシート

1. 対象を確定する

対象サイトURL

契約サービス / 対象ドメイン

担当者 / 確認日時

現在のWeb用PHP（サイトヘルス等）

サーバーパネルで選択中のPHP

2. 修正状況を判断する

☐ PHP公式で対象CVEと修正版を確認	確認日:　　/　　/
☐ 契約サービスの公式告知を確認	告知URL・日時を別紙に控える
☐ Web用PHPが対象系統か確認	CLIの php -v だけで判断しない
☐ パッチ適用範囲が不明なら事業者へ照会	旧版・VPS・独自構成は要確認
☐ 更新の要否と責任者を決定	更新不要でも検収は実施

3. 今回の判断を残す

☐ 適用済みの根拠を確認　　☐ 更新を計画

☐ 提供者へ照会中　　☐ 判断保留・公開機能を監視

根拠・次の担当・期限：

変更・検収チェック

バックアップ、切替、業務フローの確認を分けて記録する

4. 変更前の品質ゲート

☐ WebファイルとDBを両方バックアップ	取得日時:　　/　　/　　:
☐ 復元方法と切り戻し担当を決定	注文・投稿の新規データ保全も確認
☐ テーマ・主要プラグインの互換性を確認	検証環境があれば先に試す
☐ 変更対象ドメインと時間帯を再確認	別サイトへの誤適用を防ぐ

5. 切替と検収

	変更前のWeb用PHP	変更後のWeb用PHP / 変更時刻
☐ サイトヘルスでWeb側の版を再確認		設定したドメインと一致
☐ トップ・主要記事・モバイル表示		HTTPエラー、画像、レイアウト
☐ 問い合わせフォームを実送信		完了画面と受信メールの両方
☐ 下書き保存・プレビュー		権限エラーや致命的エラーなし
☐ 会員・予約・決済をテスト		該当サイトのみ
☐ PHPエラーログを前後で比較		新規の致命的エラーなし

6. 完了 / 切り戻しの判断

☐ 業務処理まで検収して完了　　☐ 未検収の項目を残して監視

☐ 異常があり切り戻し

異常・対応・判断者：

照会文面・継続監視

曖昧な「安全ですか？」で終わらせないための連絡用ひな形

7. 事業者へ送る照会文面

件名：2026年10月公表のPHP脆弱性への適用状況確認

契約サービス：［　　］　対象ドメイン：［　　］

Web側PHP：［　　］　管理画面の設定値：［　　］

CVE-2026-109618、CVE-2026-109619について、

この契約・サーバーのWeb用PHPに修正は適用済みでしょうか。

適用範囲・完了日時・旧PHP系統の扱いを教えてください。

利用者側で必要な作業と確認方法もご案内ください。

※ サーバーID等は正規の問い合わせ画面にだけ入力。パスワード・秘密鍵は送らない。

8. 回答・監視の記録

問い合わせ日時 / 受付番号

回答日時 / 担当者

回答の要点（適用範囲・完了日時・追加作業）：

☐ 24時間後にフォーム着信・エラーログを確認

☐ 72時間後に夜間処理・問い合わせ着信を確認

9. 次の一手

未完了項目：

担当者 / 期限：

公式情報: php.net/archive/2026.php#2026-10-21-5 / xserver.ne.jp/manual/man_program_php_ver.php